「日本随心行」に出展しました！

2010 年 11 月 26 日～28 日、観光庁、日本政府観光局（ＪＮＴＯ）の主催による“ 日本随心行 ”が北京市王府井の東方新天地地下ショッピングセンター内において開催されました。日本の航空会社や旅行会社が日替わりで６社出展していたほか、中国に進出し活躍している美容師やネイリストによるデモンストレーションが行われたり、富士山や温泉、スキー場の写真を背景に記念撮影ができるコーナーもあり、日本の魅力を買い物客などにＰＲしていました。当事務所は、日本各地を紹介するブースとして出展しました。その他日本の自治体では札幌市、新潟市が出展しました。

今回のイベントには、約 28,000 人の来場者があり、日本に興味のある買い物客や通行人で賑わいました。当事務所のＰＲブースでは、自治体等のパンフレットの一部を配布しました。

■ 北京の旅行業者、一般来場者の動向

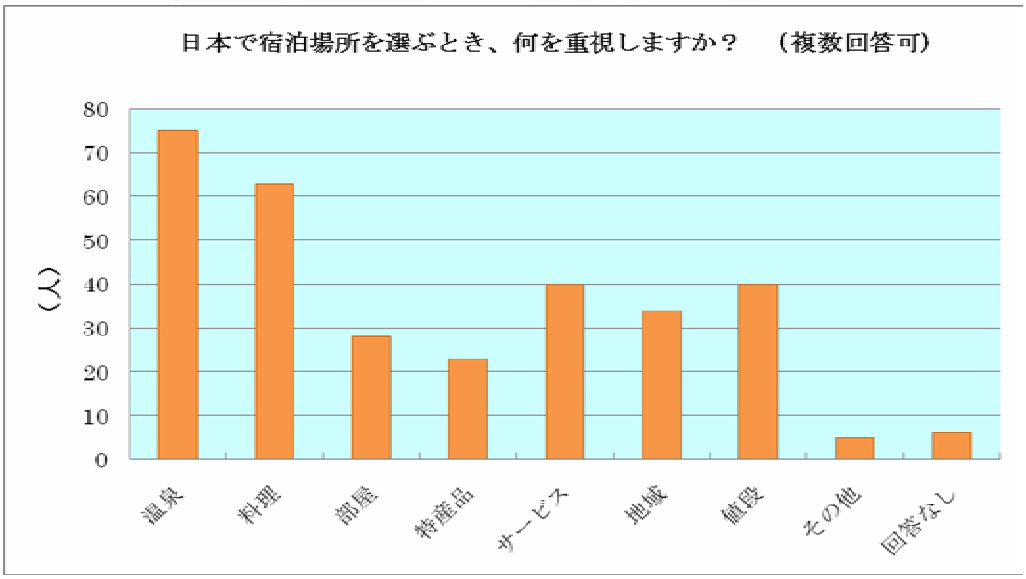
当事務所では、会場においてアンケート調査を実施しました。その結果を抜粋してご紹介します。

一般来場者 107 名の方にご協力いただきました。男女比は３対７で（男性 36 名、女性 71 名）、年代は 20 代が 52%と約半数を占め、次いで 30 代で 21%となっており、今回は比較的若い世代のアンケートを取ることができました。また、日本を旅行したことのない人が 78%を占めました。

当事務所としましては、この調査結果が各自治体の観光施策の一助となれば幸いです。なお、アンケート方法によっては回答が違ってくる場合がありますので、あくまでも参考としてご覧ください。

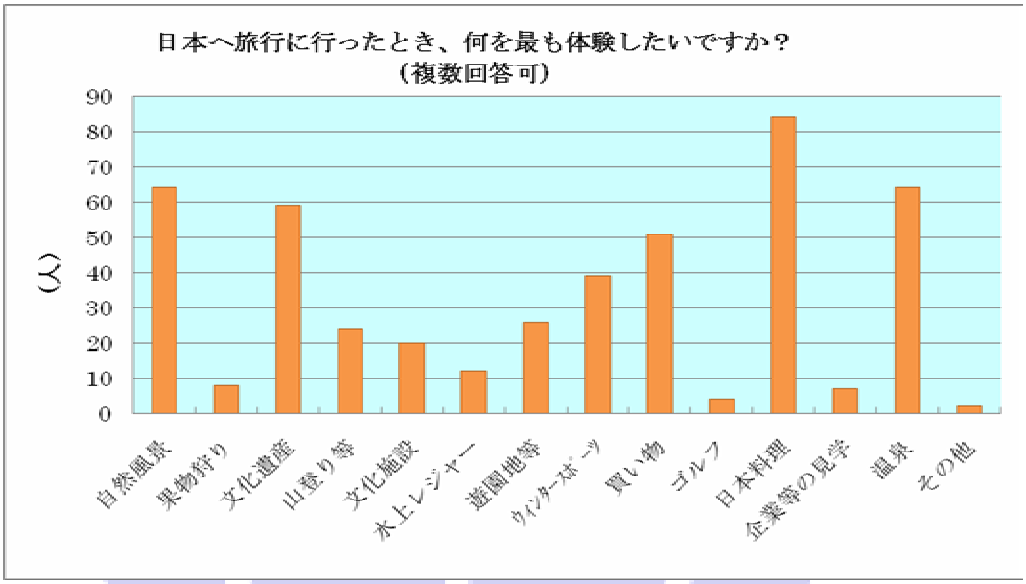
【問】　「日本で宿泊場所を選ぶとき、何を重視しますか。」（複数回答可）

【結果】　これまでの旅遊博覧会で実施した調査結果と同様、日本の温泉や本場の日本食に人気があり、「温泉」「料理」を重視する人が多くなっています。



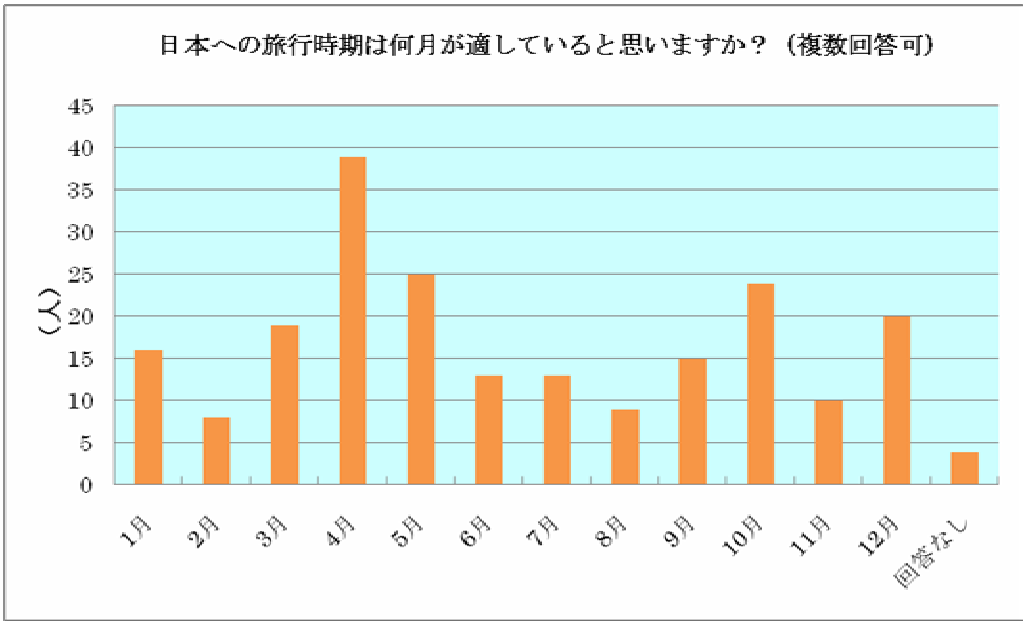
【問】　「日本へ旅行に行ったときに最も体験したいのは何ですか。」（複数回答可）

【結果】　「日本料理」を選択した人が多く、次いで「温泉」、「山、海などの自然風景」、「お寺、城などの文化遺産」、「買い物」となっており、今回は日本料理が一番人気となる結果となりました。次に温泉や美しい自然風景、文化遺産などとなっている結果をみると、日本各地の美しい地域資源に興味がある人が多いようです。



【問】　「日本への旅行時期は何月が適していると思いますか。」

【結果】　これまでの旅遊博覧会で実施した調査結果と同様、４月が最も多い結果となりました。次いで 5 月、10 月が旅行に適していると考える人が多いようです。



【問】　「日本への旅行期間は何日が適当と思いますか。」

【結果】　これまでの旅遊博覧会での結果では６日から９日と答えた方が全体の約６割を占めていましたが、今回は日数が少し増え７日から 10 日と答えた方が６割、６日から 10 日では約８割を占める結果となりました。

【問】　「日本への旅行費用はいくらくらい出せますか（適当ですか）。」

【結果】　これまでの結果では、7,000 元（13 円/１元計算で 91,000 円）以下と答えた方が全体の半数を超え、約７割の方が 8,000 元（104,000 円）以下と回答していたものの、今回は高級ショッピングセンター内でのアンケート調査であったからか、8,000 元（104,000 円）以下が過半数、9,000 元（117,000 円）以上が約３割で、中でも 10,000 元（130,000 円）以上を選んだ方が約２割となりました。

■ まとめ

日本政府観光局（ＪＮＴＯ）が発表した推計値によると、９月まで毎月前年同月比で大幅増を記録してきた訪日旅行者が 10 月以降落ち込んでいるようですが、１月から９月までの訪日外客数のうち観光客については前年比 105％の伸び率とトータルでは 2009 年度総数をすでに 17 万人以上を上回る約 117 万 8 千人を記録しています。

また、観光庁によると医療滞在ビザを 2011 年１月に新設し、中国においてもＰＲ活動を行うとのことで、今後観光客だけでなく訪日促進に向けた新たな取組が拡大されていく見込みです。

自治体においても今後ますます中国においてＰＲ活動が活発化していくことが予測され、当事務所としても今後も中国各地で開催される旅遊博覧会等に出展して、日本の自治体の観光や物産等のＰＲを実施することにより、自治体のＰＲ活動をサポートしていくこととしています。

なお、今年度の博覧会情報やこれまでの博覧会出展については、下記のホームページ（http://www.clair.org.cn/activity_2.htm）をご参照ください。